

会派の構成

会派とは、市議会内で政治上の主義や政策等と同じくする議員同士が集まって、政治活動を行うことを目的として結成された団体のことです。

○=幹事長

政和会

石塚	信治	鴨打喜久男	齊藤一夫
佐野	郁夫	島村速雄	高橋信博
永田	政弘	宮崎照夫	

市議会公明党

浅倉	成樹	加藤俊彦	桜田誠
立花	隆一	津本裕子	原邦彦

フォーラム小平

小林	秀雄	斎藤敦	齊藤進
高橋	勇	高橋三男	

緑・ネット

岩本	博子	住田景子	常松大介
苗村	洋子	橋本久雄	

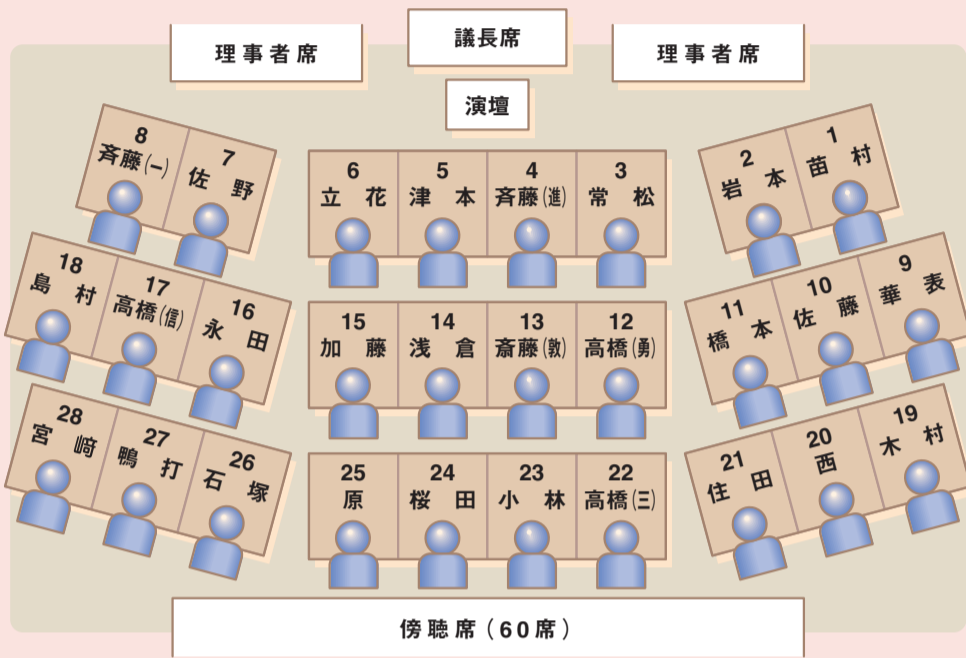
日本共産党小平市議団

木村まゆみ	佐藤充	華表	暁
西克彦			

議席図



本会議場



意見書

6月定例会では、議員提出議案の可決により、2件の意見書を関係機関へ送付しました。

電力の安定供給に関する意見書

意見書とは、市など地方公共団体の公共の利益に関することについて、議会としての意思をまとめ、国会または関係行政庁に意見として提出するものであり、地方自治法第99条に定められています。

東京電力株式会社は、原子力発電所を新潟県及び福島県内に17基設置し、合計千七百30万^{ワット}の電力を首都圏へ供給しています。しかしながら、安心・安全が何よりも求められている原子力発電所において、点検・補修等におけるもろもろの問題が発生し、事業者の信頼は失墜し、ついには全プラントの停止という事態に至っています。

その後、地元の理解を得て新潟県の柏崎刈羽6号機と7号機は再開していますが、この2機のみで夏の電力供給に間に合うかどうか、マスコミ紙上でも大きく取り上げられています。仮に供給不足に伴う停電というような事態になれば、国民生活に重大な影響を与え、我が国の

社会・経済全体にとって多大な影響を及ぼすことは明らかです。

本来、この問題を引き起こした最大の原因は、東京電力株式会社社長が長年事隠しをしたということにあります。この体質を改革し、失われた信頼を取り戻すことが最重要課題です。一方東京電力株式会社を監督する国は、原子力発電の安全の確保に万全を期すとともに、再生可能な自然エネルギーなどの代替エネルギーの開発を進めることを含め、東京電力株式会社の体質改革実現のため監督責任を果たさなければなりません。

当然、このような事態を迎え、市民・企業・行政も挙げて、一層省エネに取り組まなければならないことは言うまでもありません。

よって、本市議会は、国に対し電力の安定供給に向けて東京電力株式会社に対する指導・監督の徹底を図るよう強く要請します。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、経済産業大臣、環境大臣あて

ヤミ金融対策の抜本的強化を求める意見書

長引く不況の中で、経営や生活の困難からヤミ金融に手を付けざるを得ない人が増加する中、

現行制度のもとでは、登録さえすれば容易に貸金業を営むことが可能であり、法外な金利や強引な取り立てを行う悪徳業者への行政対応も実効を期しがた

ヤミ金融の横行が看過できない社会問題となっています。人の弱みに乗じて、中には年利数千%から数万%に上る高金利による貸し付けがなされたり、勤務先や家族への脅迫的な取り立てはもとより子どもが通う学校にまで催促の電話がかけられ、職場からの解雇や離婚、自己破産行方不明、さらには自殺をも余儀なくされるなど、その深刻な被害の多発化は目に余るものがあります。

よって、国は、出資法上限金利を超える貸付契約の無効を明定するほか、罰則や広告・勧誘の規制強化、苦情相談窓口や監

督省庁・関係団体等の体制整備の実施など、新たな立法措置を含めた悪徳ヤミ金融を排除するための措置を速やかに講じられるよう強く要望します。

法務大臣、財務大臣、金融担当大臣あて

請願

陳情

6月定例会では、請願3件を新たに受理し、審議した結果、すべてを継続審査としました。

陳情については、1件を新たに受理し、全議員及び執行機関に陳情書の写しを配付しました。

議場見学

《小学校3年生》

○6月17日 七小152人

○6月19日 学園東小57人

○6月20日 十一小114人



あしがき

議員の改選により、今号から議会報編集委員会も新しいメンバーとなりました。

市民の皆様が、市議会を身近に感じていただけるよう、よりわかりやすく親しみやすい紙面

つくり努めていきたいと思っております。

皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

〒187-8701 小平市小川町二丁目 1333番地
議会報編集委員会
小平市議会事務局

☎042(346)9566
FAX042(346)9567